

ユネスコ執行委員会

増上寺の仏教聖典「世界の記憶」に

広島原爆写真は登録見送り

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の執行委員会は17日、世界的に重要な資料の保存などを目的とする「世界の記憶」に「増上寺が所蔵する三種の仏教聖典叢書」を登録した。日本では9件目。2023年以来2度目の審議で認められた。

政府が叢書と共に推薦し、被爆80年を迎える今年の登録を目指していた「広島原爆の視覚的資料—1945年の写真と映像」は見送られた。

叢書は12〜13世紀に中国と朝鮮半島で刷られた経典約1万2000点。江戸幕府初代將軍、徳川家康が収集



し、浄土宗の大本山である増上寺（東京都港区）に寄進した。

仏教学の基盤形成に貢献したほか、歴史学や言語学など多分野で重要な役割を果たしている。15世紀以前の経典がほぼ完全な状態で残っているのは世界的にも珍しいといひ、法人としての浄土宗と増上寺が登録を申請した。

増上寺所蔵の三種の仏教聖典叢書（そうじよ）の一部（浄土宗・増上寺提供）